

令和7年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2026.01.08(木)

事業コード	25-G-07	学校名	美濃市立大矢田小学校		住 所	美濃市大矢田1382-2
実施日	10月15日(水)13:10～15:25			受講児童生徒数	52名(4～6年生)	
開講職種数	4職種	指導者数	9名	参観保護者数	17名	

学校アンケートの結果

1 体験授業全体を通して、満足していただける内容となっていましたか

→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった

4 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください

→

- ・「このような職業もあるよということを知ってほしい」「こういった体験が将来のことを考えるきっかけとなってほしい」と職人の方が直接子どもたちに伝えたことに、大きな価値があると考えます。その趣旨をものづくりマイスターの方が丁寧に伝えてくださいってとてもありがたかったです。
- ・講師の方のお話がとても分かりやすく、子どもたちにとっても将来の生き方を考える良いきっかけになった。
- ・働いているときのせわしさや高い集中力や専門性、こだわり等、働くことの大変さを知らせていただきたい。
- ・本校はこの事業が3年目となり、最後になりそうですが、体験授業の価値は大きいと感じるので、何らかの形で学ぶ機会があると良いと感じています。

会場担当教員アンケートの結果 (4会場の先生)

1 この体験授業にて児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか

①大変よく伝わった →

②ある程度伝わった →

③あまり伝わらなかった →

④全く伝わらなかった →

2 児童生徒に対するキャリア教育の視点で、この体験授業の価値や要望について、自由にお書きください。

→

- ・キャリア教育は単発ではなかなか指導は難しいと思います。3年間かけて学ばせていただいたことに感謝しております。また、職業についても毎年新しいものを加えていただき、子どもたちの職業について知ることや選択の幅も広がっていくことにつながったと思います。(菓子製造会場)
- ・単発の取り組みではなく、3年間継続してやっていただけたことで、特に3年間受けた6年生にとっては、様々な職業を体験することのできる機会になったと思う。
- ・最近ではコロナ禍のこともあって中学生でも職業体験を行わない学校があり、学校外との繋がりが減ってきているが、講師の方に来ていただき、本物を実体験することができることは本当にありがたいことだと思います。(建築大工会場)
- ・体験授業ほど行う価値の高い学習は他ないです。職業体験を複数年に渡って様々な経験すると、子ども一人ひとりの職業選択の1つとして選ぶことができるのかなと思いました。「いろいろやったけど、あの職業は自分に向いてるな」「早いうちにこの職業の素晴らしさに気付けた」「あのとき同じようなことをやったことがあるな」等、職業選択を等身大で深く考える良いきっかけになると思います。(左官会場)
- ・実際に働いている方と仕事内容を体験したり、お話を聞いたりする機会は、とても大切なことだと思います。(園芸装飾会場)

指導者アンケートの結果 (4職種の各代表)

1 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか

→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった

②興味関心を示さない児童生徒も少しあったが、概ね満足できる内容であった

③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった

④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった

2 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしかりましたら、お聞かせください

・色々な仕事を知るということはとても素晴らしいことで、子供が体験することでものづくりの楽しさに気付く、それが大切です。この事業を通して、一人でも多く職人を目指す子供が増えることができたら素晴らしいと思います。そのためにも事業の継続または拡充を期待しています。(菓子製造職種)

・各業界、職人離れの現状になっているからこそ、小学校からの今回の体験授業は児童や私たちにとって良いことだと思います。毎年開催していただきたいと思います。(建築大工職種)

・小学生の子どもたちに左官という職業を知ってもらえたので、とても良かったです。(左官職種)

・今回のような体験授業を、小学生・中学生(できたら小学生)のうちから体験することは人材のタネまきになると思います。園芸などの仕事の存在を身近に感じてもらう事は業界にとってとてもありがたく、大切な事業だと思いました。できたら、今後もこういった事業を続けていただきたいです。(園芸装飾職種)

会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれぐらい満足されましたか

		菓子製造	建築大工	左官	園芸装飾	合計(左:人 右:%)	
指導者数		1	3	3	2	9	
受講児童生徒数		15	13	12	12	52	
回答	とても満足した	15	13	11	12	51	98.1
	ある程度満足した	0	0	1	0	1	1.9
	あまり満足できなかった	0	0	0	0	0	0
	満足できなかった	0	0	0	0	0	0
	合 計	15	13	12	12	52	100

菓子製造会場の様子



先生の感想

- ・実演、体験を通して、お菓子作りの楽しさ、美しさ、大変さなど幅広く学ぶことができ、またそれを持ち帰ることができ、自分が取り組めたことへの充実感を味わうことができた。
- ・3種類のお菓子を、だんだんレベルを上げて作ることができ、最後のお菓子は仕込みから生地を作ったが、短時間でき、時間いっぱい活動することができた。
- ・職業に対する思い、なぜ、仕事を続けているのか、何のために等、この事業でしか学べないことを学ばせていただいた。
- ・講師の先生からしか学べないことを学ぶことができる事が大変大きな財産となりました。
- 高い技術だけではなく、人として、職業人としての生き方を学ぶことができました。
- 特に、今だけではなく、子どもたちの将来を見据えての職業選択につながるような講話をいただいたことが、さらにありがたいと感じました。
- ・早い段階でいろいろな準備を進めてくださいり、子どもたちにも本日を迎えるにあたって、他の教育活動に生かすことができました。

児童生徒の感想

- ・和菓子を作るのにはすごく手間がかかることが分かった。和菓子にも色々種類があってびっくりした。他の和菓子を作っているところも見たい。
- ・やってみて、色付けで作り出したい色が中々できなかったけど、とても上手く作れて良かった。家でもできたらやりたいなと思った。
- ・普段和菓子はあまり作らないから、みんなと作れてとても楽しかったし、作り方も知らなかったからとても勉強になった。質問コーナーでもとても勉強になった。
- ・菊の和菓子に花の切り込みを入れるところが少し難しかったけど、グループの子と楽しく作れてとても充実した体験になった。
- ・私は職業についてどうやって決めるのかなと思っていたけど、河田さんが「親の姿を見て」と話されていて、憧れる中から職業が決まっていくんだなと思った。
- ・工夫したのはぼかしを丁寧にやったこと。お手本をしっかり見て、丁寧にやった。昭和中学校にも来年是非来てほしい。
- ・和菓子でも季節によって違う種類があることを知ったし、和菓子職人になるまでも、たくさん乗り越えなければならないことがあることを知った。
- ・私が作ると、餅の色が薄く見えたり、爪の跡ができてしまったので本当に河田さんはすごいと思った。

建築大工会場の様子



先生の感想

- ・職業講話で、児童らはお寺や神社の建物の細部まで職人さんの高度な技術が使われていることを知つて感心していた。
- ・製作実演のノコギリで丸太を切る作業では、児童らは道具の扱い方に気を付けながら一生懸命切ることができた。また、カンナがけでは、児童らは薄く均一に削ることに四苦八苦していたが、講師の方がそれを軽々とやってのけるのを目の当たりにして、職人さんの技術の高さに感心しているようだった。
- ・切り落とした丸太にインパクトドリルで穴を空ける作業では、児童らは思ったように穴が空かずに苦労していた。講師の方や職員が支援してようやく穴を空けることができ、体力や力がいることの大変さを実感していた。
- ・鉛筆立てという形が残るものを児童一人一人が作成することができたことで、児童らはモノづくりの達成感や充実感を感じることができたように思う。
- ・木を切ったり削ったりするだけなら学校の教育活動でも可能だが、職人さんの技術の高さを目の当たりにすることでそのすごさを実感したり憧れを抱いたりすることができ、キャリア教育の一助となつたように思う。
- ・講師の方の中には本校の地域の方もいてくださったことで、どこか遠い場所の話ではなく、自分たちのより身近な存在なのだと感じることができたように思う。
- ・講師の方に来ていただき話をしてもらったり教えてもらったりすることで、話を聞く姿勢、言葉遣いや積極的に質問することなど、マナーや礼儀作法の視点でも児童らに指導するよい機会とすることことができた。

児童生徒の感想

- ・かんなを使って木を削るのがキレイにできなかつたけど、先生は一気にキレイに削つていてすごいと思った。僕も先生みたいにキレイに削れるようになりたい。
- ・昔は大きな木の家や建物を全て手作業でやつていると知つて驚いた。
- ・ノコギリで木を切るのがめちゃくちゃ大変で疲れがすごかつた。家を作る仕事や木を切つたり、削つたりする仕事で1日9時間も働き続けているという話が印象に残つた。
- ・丸太を切つて、その丸太にドリルで穴を開けた後に磨いてニスで塗つて乾燥させた。インパクトドリルで穴を開けるときにすごい音がしてびっくりした。
- ・一軒の建物を建てるのに3ヶ月から1・2年もかかるという話にびっくりした。
- ・かんな削りが、先生はスラスラやつていたのに意外と力がいるからボロボロになつたけど、コツをつかむことができて良かった。丸太切りはノコギリで切つたけど、太くて硬くて難しかつた。穴を開けるのは怖かつたけど、うまくできて良かった。

左官会場の様子



先生の感想

- ・職業講話は、質問に答える形で話をされた。製作実演は特になく、子どもの側に寄って、隣で少し塗って見せてあげていました。
とにかく、感覚を大切にされているようで、子どもが少し困ったときに土の取り方やこての角度など、その都度一つ一つコツを教えてくれました。子どもたちは塗り壁の難しさを感じていましたが、やっていくうちに慣れてきて、一面を塗り終えたときは達成感を感じている様子でした。ピクチャーボードは様々な色や模様で楽しく作品の製作に取り組んでいました。質問はほぼ全員が行い、仕事のよさや意義、大変さなどを子どもたちは知ることができました。
- ・左官仕事の繊細さや大変さ、それを乗り越えた時の達成感等を、子どもたちが体験活動を通じて味わうことができました。また、高い専門性が自分が一生食べていける技術となり、人のためになるということを併せて知ることができました。さらに言うと、長い時間細部まで集中してモノづくりを行うことができたことは、子どもたちにとってとても価値あることだと思います。

児童生徒の感想

- ・壁を塗ることと塗る量がどのくらいかが分かりにくかったけど、楽しかった。
- ・私のお父さんは左官の仕事ができるので、家でも教えてもらいたいし、塗るのは難しかったけど楽しかった。
- ・空気が入ると上手に型紙の通りに出来ないので、空気があまり入らないように工夫した。
- ・動画で壁塗りをしているところを見て、自分でうまくできるのかなと思った。最初はなかなか出来なかつたけど、コツを教えてもらったらすごく上手にできた。
- ・コテ絵作りでは色々な色の土があって、自分好みな作品ができてすごくよかったです。
- ・最初はコテに材料を乗せるのも難しかったけど、慣れてきてスムーズにできてとても楽しかった。
- ・花とかもみじなどをコテで、色の付いたしっくいで塗るのが楽しかったし、額縁に入れられる作品なので、家に飾ろうと思う。
- ・左官をやって思っていたより難しかったけど、左官を教えてくれた増田さんが優しく上手に教えてくれたので嬉しかった。
- ・若い職人の人たちが大きな1枚の壁を3分以内に塗るということがすごく印象に残った。
- ・立壁塗りはきれいに塗るのがすごく難しかったけど、何度も塗っているうちにきれいにできた。コテ絵作りもきれいな色を使って可愛くできたので充実した時間だった。

園芸装飾会場の様子



先生の感想

- ・職業講話では、国家資格が必要な職業であることを話していただき、児童も興味をもって聞いていた。
- ・体験活動では、生活をより豊かにするための装飾の工夫について実際に見せていただき、感動していた。苔玉作りでは、薄く広げた土をつける作業や、糸を巻き付けて丸くしていく作業など難しい作業がいくつかあったが、完成した作品を見て、家で大切に育てていきたいという発言が多く出ていた。
- ・質疑応答の時間は、積極的に質問する子どもの姿があった。
- ・積極的に色々な経験をしてきた指導者の方からの「経験は無駄にはならない、無駄だと自分が思ってしまったら無駄になる」という言葉が、児童に響いた様子だった。
- ・児童の口から「すごい！」という言葉が、自然とたくさん出てきた講義でした。それほど児童にとって、多くの発見と感動があったのだと感じます。体験活動をする時間も十分にあり、楽しく、充実した活動をすることができました。

児童生徒の感想

- ・苔玉を作ってみて、土のダンゴに苔を付けるのがとても難しかったけど、きれいにできて良かった。いつまでも大切に育てたい。
- ・今日はこけ玉作りをして大変だと思ったけど、色々コツとかを教えてくれたので楽しく簡単にできた。
- ・自分たちで植物を配置してディスプレイを作ったことが印象に残った。自分たちで作った装飾品をできれば学校に飾りたいなと思った。
- ・こけ玉作りは上手にできたし、もっと園芸装飾のことを知りたいと思った。
- ・今日僕は植物による効果や人に与える効能がとてもあること、植物の名前、こけ玉作りやディスプレイ作りのコツが分かった。
- ・職人の人たちはきれいな園芸装飾のディスプレイをすぐに作っていて、芸術家みたいですごいと思った。
- ・初めのうちは汚れるのが嫌だったけど、こけ玉を作つてみると楽しくて、苗を選ぶのも大事なことだと知つたし、汚れるのも嫌ではないなと思うようになった。
- ・技能者とはどのような人なのかよく分かったし、園芸装飾という仕事がどのようなものか分かって、とても勉強になった。
- ・こけ玉作りは思った以上に大変でびっくりした。植物の名前も知らないのがいっぱいあって、本当に勉強になった。
- ・玉田先生がワンピースのキャラクターで例えていて、とても面白かった。
- ・こけを糸で留めているのが「えー！」と思っていたけど、本当に土にこけがくっつかなかったので「なるほどな」と思った。